令和 8 年 3 月 19 日

臨床研究に関する情報公開（オプトアウト）

研究番号

25-008

研究課題名

内視鏡治療後 VM1、VMX 症例における遺残・局所再発の検討

研究の対象

2009 年 1 月以降に熊本地域医療センターで消化管病変に対する内視鏡治療（ESD/EMR）を受け、病理組織学的に VM1 または VMX と診断された患者さんを対象としています。

※VM1：病変が切除標本の垂直断端（深部方向の切除端）に接している、または陽性と判断された状態
※VMX：垂直断端の評価が困難であった状態

研究の目的

内視鏡治療後に VM1 または VMX と診断された症例について、その後の遺残腫瘍や局所再発の頻度、特徴を明らかにすることを目的としています。

研究方法

診療録、内視鏡記録、病理結果など、通常診療で得られた情報を用いて後ろ向きに検討を行います。本研究のために新たな検査や治療を追加で行うことはありません。

利用する情報

・年齢、性別
・病変の部位
・内視鏡治療法（ESD/EMR）
・病理結果（深達度、脈管侵襲、分化度、断端所見など）
・追加外科手術の有無
・追加外科手術の病理結果
・経過観察時の内視鏡所見

個人情報の取り扱い

研究に使用する情報は匿名化し、個人が特定されない形で取り扱います。研究成果を学会や論文で発表する際も、個人が特定されることはありません。

研究期間

倫理委員会承認日から 2030 年 3 月まで

研究機関・研究責任者

熊本地域医療センター 消化器内科
研究責任者：脇 幸太郎

試料・情報の利用を望まれない場合

本研究への情報利用を希望されない場合は、下記までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先）
熊本地域医療センター 消化器内科 脇 幸太郎
TEL：096-363-3311

利益相反について

本研究に関して開示すべき利益相反はありません。